

# Dell Storage Center




## SC9000 ストレージシステム

### はじめに

規制モデル: E31S  
規制タイプ: E31S001



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。


2015 - 10


Rev. A00

# ストレージシステムのセットアップ

SC9000 ストレージシステムをセットアップする前に、以下のベストプラクティスを考慮してください。

- Dell では、Fibre Channel または iSCSI ストレージシステムを使用したデータ転送に、専用 SAN ネットワークを使用することをお勧めします。
- データパスの一つに障害が発生した場合にホストサーバーに対するパスを提供するため、常に冗長データパスを設定するようにしてください。
- ストレージシステムとホストサーバーまたは拡張エンクロージャの間のケーブル接続を行う前に、各ポートおよびコネクタにラベルを貼っておきます。
- ネットワーク全体でパワーサイクルを実行する場合は、常に正しい電源投入および電源切断手順に従うようにしてください。重要なネットワークコンポーネントが個別の電源回路に設定されていることを確認してください。

 **メモ:** この製品は、専用の設備室や機器クローゼットなどの、アクセスが制限されている場所で使用することを想定されています。


 **警告:** 密閉型ラックアセンブリまたはマルチユニットラックアセンブリに設置した場合、ラック環境内の動中周囲温度が室温を上回ることがあります。このため、製造元の指定する最高周囲温度 (T<sub>ma</sub>) に適合する環境に機器を設置できるような考慮が必要となります。


## 安全上の警告

次の情報は Fibre Channel ストレージシステムにのみ適用されます。

### Fibre Channel ストレージシステムのレーザー放射



 **注意:** 開くとクラス I レーザーが放射されます。レーザー光線への曝露は避けてください。

 **警告:** レーザー放射。レーザー光線への直接曝露は避けてください。

本ユニットは、米国では DHHS 21 CFR 第 1 章、J 項 クラス I (1) レーザー製品の要件を満たすものとして認証され、その他の国々では IEC 60825-1:2007 の要件に準拠する Class I レーザー製品として認証されています。

クラス I レーザー製品は、危険とはみなされていません。レーザーシステムおよびユニットは、通常動作やユーザーメンテナンス中、または指定された保守条件下においてクラス I レベルを超えるレーザー放射への人体のアクセスがないことを前提に設計されています。

## サービスタグの位置

ストレージシステムは固有のサービスタグおよびエクスプレスサービスコードで識別されます。

サービスタグおよびエクスプレスサービスコードは、システム前面で情報タグを引き出して確認します。または、ストレージシステムシャーシの背面に貼られたシールに情報が記載されている場合があります。この情報は、電話によるサポートのお問い合わせを、デルが適切な担当者に転送するために使用されます。

- メモ: Quick Resource Locator (QRL) は、お使いのシステムに固有の情報タグのコードです。タブレットやスマートフォンを使用して、QRL をスキャンし、システム情報に容易にアクセスできます。

## その他の情報

ストレージシステムを取り付けるには、次の追加情報が必要となる可能性があります。

- メモ: Storage Center コンポーネントに同梱されている、安全および認可機関に関する情報を参照してください。保証情報は、別の文書に掲載されています。
- 『Dell Storage Center System Manager Administrator's Guide』(Dell Storage Center System Manager 管理者ガイド) は、Storage Center を管理するための Storage Center System Manager の使用方法について説明しています。
- 『Dell Enterprise Manager Administrator's Guide』(Dell Enterprise Manager 管理者ガイド) は、複数の Storage Center システムを管理するための Dell Enterprise Manager の使用方法を説明しています。

## 取り付けと設定

取り付け作業を開始する前に、ストレージシステムを取り付ける場所に、独立した電源から、または UPS 搭載のラック配電ユニットからの標準電力が備わっていることを確認します。

さらに、ラック内にストレージシステムを取り付けるスペースがあることを確認します。

### Storage Center 機器の開梱

ストレージシステムを開梱して、同梱されている物品を確認します。

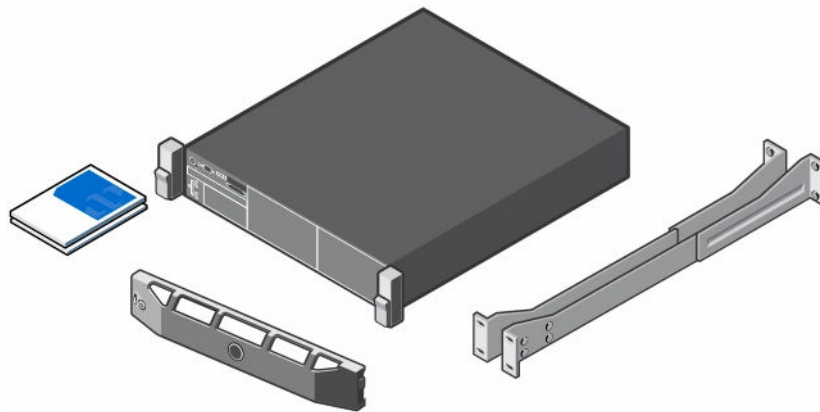



図 1. SC9000 ストレージシステムのコンポーネント

- マニュアル
- ストレージシステム
- ラックレール
- 前面ベゼル
- 電源ケーブルおよびネットワークケーブル (表示されていません)

### ラックへの SC9000 ストレージシステムの取り付け

ストレージシステムおよびラック内の他の Storage Center コンポーネントを取り付けます。

-  **メモ:** ストレージシステムを、ラック内で拡張可能なように、ラック上段側が重くならないようにラックに載せます。

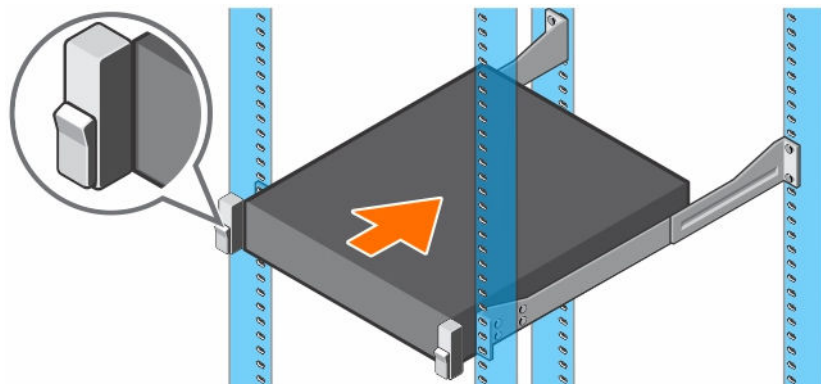


図 2. ラックへのストレージシステムの取り付け

### 前面ベゼルの取り付け

ストレージシステムの前面にベゼルを取り付けます。

1. ベゼルの右端をストレージシステムに取り付けます。

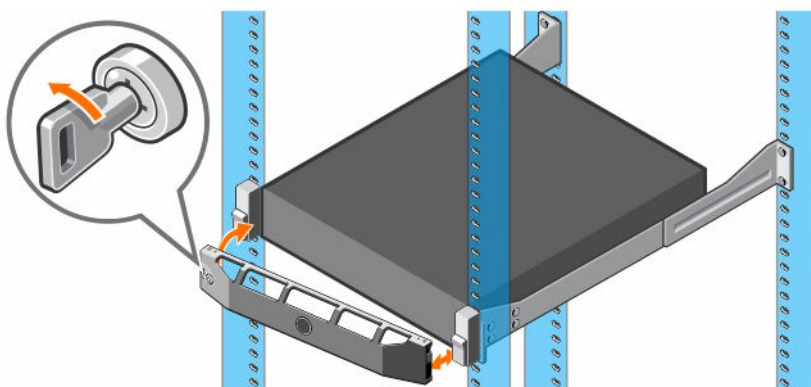


図 3. 前面ベゼル

2. ベゼルの左端を、リリースラッチが所定の位置にカチッと収まるまで、固定スロットに挿入します。
3. キーロックでベゼルを固定します。

### 電源ケーブルの接続

ストレージシステムに電源ケーブルを接続します。

1. 電源ケーブルを接続する前に、ストレージシステムの電源スイッチがオフの位置にあることを確認します。
2. 電源ケーブルをストレージシステムのシャーシ内にある電源装置に接続します。

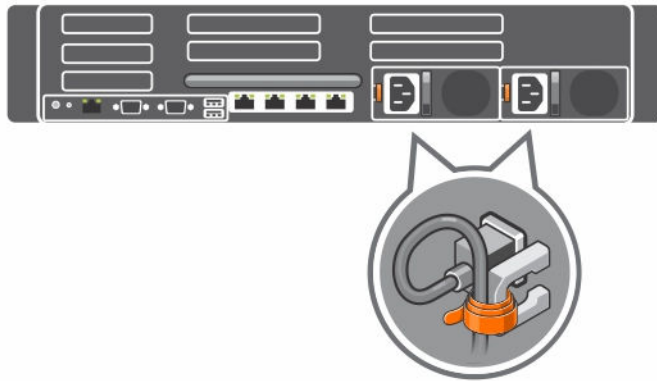


図 4. 電源ケーブル

3. それぞれの電源ケーブルを、ストレインリリーフファスナーを使用して、ストレージシステムのシャーシに固定します。
4. 電源ケーブルのもう一方の端をアースされた電源コンセントまたは UPS（無停電電源装置）や配電装置（PDU）などの電源に接続します。

## NOM 情報（メキシコのみ）

以下は、メキシコの公式規格（NOM）の仕様に準拠する、本書で取り上げている装置に関する情報です。

輸入者：	Dell Inc.de México, S.A.de C.V.Paseo de la Reforma 2620-11°Piso Col.Lomas Atlas 11950 México, D.F.
モデル番号：	E31S
供給電圧：	100 ~ 240 VAC
周波数：	50/60 Hz
消費電流：	12 ~ 6.5 A

## 技術仕様

### プロセッサ

プロセッサのタイプ	Intel Xeon プロセッサ E5-2600 v3 製品シリーズ (2)
-----------	--

### 電源

AC 電源装置ユニット（PSU）（各電源装置につき）

ワット数	1100 W
熱消費	最大 4100 BTU/ 時（1100 W PSU）



**メモ:** 熱消費は電源装置ユニットのワット数定格に基づいて算出されます。

電源	
電圧	100～240 V AC、自動選択、50/60 Hz
拡張バス	
バスのタイプ	PCI Express Generation 3
ライザーカードを使用した拡張スロット：	
ライザー 1	(スロット 1) ハーフハイトでロープロファイルの x8 リンク (スロット 2) ハーフハイトでロープロファイルの x8 リンク (スロット 3) ハーフハイトでロープロファイルの x8 リンク
ライザー 2	(スロット 4) フルハイトでフルレングスの x16 リンク (スロット 5) フルハイトでフルレングスの x8 リンク
ライザー 3	(スロット 6) フルハイトでフルレングスの x8 リンク (スロット 7) フルハイトでフルレングスの x8 リンク
メモリ	
アーキテクチャ	2133 MT/s DDR4 登録済み、負荷低減エラー修正コード (ECC) DIMM
最小 RAM	シングルプロセッサで 128 GB
最大 RAM	デュアルプロセッサで 256 GB
コネクタ	
<b>背面</b>	
NIC	1 Gbps (2) および 10 Gbps (2)
シリアル	16550 互換 9 ピン DTE
USB	4 ピン、USB 3.0 対応 (2)
ビデオ	15 ピン VGA
<b>前面</b>	
USB	4 ピン USB 2.0 対応 (1) USB 管理ポート /iDRAC Direct (1)
ビデオ	15 ピン VGA


<b>コネクタ</b>	
外付け vFlash カード	iDRAC8 Enterprise カードを備えたフラッシュメモリカードスロット 1 個
<b>内蔵</b>	
USB	4 ピン、USB 3.0 対応 (1)
<b>物理的仕様</b>	
高さ	8.73 cm (3.44 インチ)
幅	48.2 cm (18.98 インチ)
奥行き	75.58 cm (29.75 インチ)
最大構成重量	44 ポンド
<b>環境</b>	
特定のストレージシステム構成における環境測定値の詳細については、 <a href="http://dell.com/environmental_datasheets">dell.com/environmental_datasheets</a> を参照してください。	
<b>温度</b>	
保管時	-40 ~ 65 °C (-40 ~ 149 °F)
継続動作 (高度 950 m (3117 フィート) 未満)	10 ~ 35 °C、装置への直射日光なし。
外気	外気に関する詳細については、「動作時の拡張温度」を参照してください。
最大温度勾配 (動作時および保管時)	20 °C/h (36 °F/h)
<b>相対湿度</b>	
保管時	最大露点 33 °C (91 °F) で 5 ~ 95 %。空気は常に非結露状態であること。
動作時	最大露点 26 °C (78.8 °F) で 10 ~ 80%
<b>最大振動</b>	
動作時	0.26 G <sub>rms</sub> (5 ~ 350 Hz) (全稼働方向)。
保管時	1.88 G <sub>rms</sub> (10 ~ 500 Hz) で 15 分間 (全 6 面で検証済)。
<b>最大衝撃</b>	
動作時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス、2.3 ミリ秒以下で 40 G。
保管時	x、y、z 軸の正および負方向に 6 連続衝撃パルス (システムの各面に対して 1 パルス)、2 ミリ秒以下で 71 G。
<b>最大高度</b>	
動作時	3,048 m (10,000 フィート)
保管時	12,000 m (39,370 フィート)
<b>動作時温度ディレーティング</b>	



---

## 動作時の拡張温度


---

 **メモ:** 標準動作温度 (10~35°C) の範囲外で使用する場合、システムは 5~40°C の範囲で継続動作が可能です。

35~40°C の場合、950 m を超える場所では 175m (319 フィート) 上昇するごとに最大許容温度を 1°C (1°F) 下げます。

年間動作時間の 1 パーセント未満

相対湿度 5~90 パーセント、露点温度 29°C で、-5~45°C。

 **メモ:** 標準動作温度範囲 (10~35°C) 外で使用する場合は、最大年間動作時間の最大 1% まで -5~45°C の範囲で動作することができます。

40~45°C の場合、950 m を超える場所では 125 m (228 フィート) 上昇するごとに最大許容温度を 1°C (1°F) 下げます。

動作時の拡張温度範囲に関する制約

- 5°C 未満でコールドブートを行わないでください。
- 動作温度は最大高度 3050 m (10,000 フィート) を想定しています。
- 冗長電源ユニットが必要です。
- デル非正規の周辺機器カードはサポートされていません。
- 25 W を超える周辺機器カードはサポートされていません。